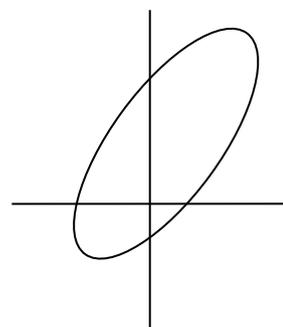


モデルプラン (小学校 - 第1学年での実践)

学級の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に幼く、自分勝手な行動をしたり、思い通りにならないとすぐに手が出たりする児童がいる。集団としてのまとまりは弱く個人での行動が多いため、他者を受け入れ協力する力を付けていきたい。 ・また、多くの児童が話をきちんと最後まで聞くことができず、集中力が切れてしまったり、話が途中で動いてしまったりする。しっかり最後まで話を聞く力を付けることも課題である。
長期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の気持ちを考え行動し、みんなで協力して楽しい学校生活を送ろうとする。
短期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のよいところを知り、お互いに認め合う。

学級集団アセスメント



1回目の分布：斜め型

◇ プログラム実践例

	プログラム名	ねらい	備考
1	めいしこうかん	お互いのことを知る。(他者理解)	6月
2	なんでもバスケット	レクリエーションを通して楽しく遊び、交流を深める。遊びのルールを守る。(きまりの遵守)	6月
3	わたしはわたしよ	友だちのことを知る。(他者理解)	9月～10月
4	じゃんけん列車	レクリエーションを通して楽しく遊び、交流を深める。遊びのルールを守る。(きまりの遵守)	10月
5	サイコロトーク	友達の話を聞き、もっとよく知る。(自己表現・基本的な話す態度)	11月
6	エンドレスしりとり (短時間プログラム)	グループで協力する。自分の意見を言ったり友達の意見を聞いたりする。(協力)	11月(3回)
7	何に見える？ (短時間プログラム)	多面的な見方をする。(自己表現・他者理解)	12月(3回)
8	たんていごっこ (小一低8)	お互いを知る。(基本的な聞く態度、話す態度)	12月

9	しあわせ宅急便 (小一低5)	自分のよさを示してもらい、自己肯定感を高める。(自己肯定感)	1月
---	-------------------	--------------------------------	----

クラスの変容

1回目の学級集団アセスメントでは高自己評価群が多く、2回目では低自己評価群が増えていた。1学期、学級を安心感のある居場所であると感じている児童が多かった。休み時間は好きなことを見つけてそれぞれ好きな遊びを楽しんでいた。他者との関わりはあまりなく、自分の好きなことをして満足しているようだった。2学期ごろから係やグループでの活動が増え始め、友達と一緒に遊びたい、友達と一緒になら楽しいという思いが少しずつ芽生えてきたようだ。いろいろなSSTプログラムを行い、友達のことをもっとよく知ったり、自分のことを話したりする時間があり、関係が深まってきたようだ。休み時間や下校時は誘い合っ一緒に行動しようとする児童が増えてきた。また、いろいろな学習や学校行事を経験して、うまくできるまで努力したり苦手なことも挑戦したり、今までにない経験に直面し、ただ楽しいだけの学校生活ではなく、悩んだり悔しい思いをする経験をしてきた。他者と自分を比べ、できない自分に向き合うことで自己肯定感が低迷し、高自己評価群から低自己評価群へ推移した児童が多いのではないかと分析する。

◇ プログラム等アレンジ例 「しあわせ宅急便」(小一5)

〈アレンジのポイント〉

- ・ 目的の明確化
- ・ プレゼントカードの変更
- ・ 振り返りシートの変更

学級活動指導案

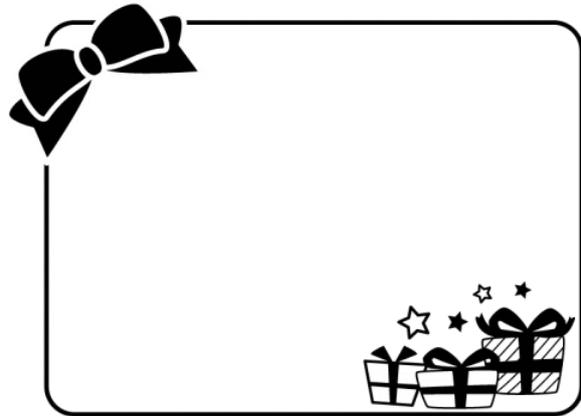
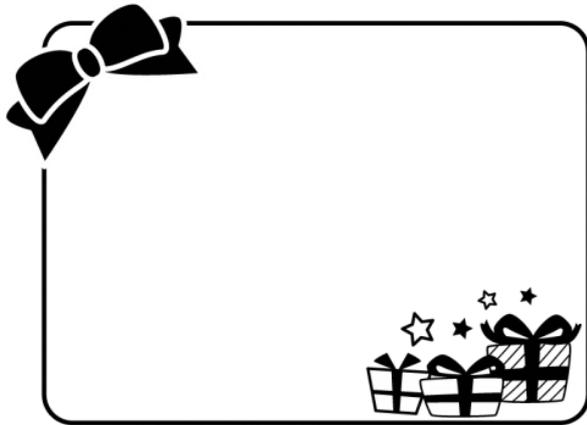
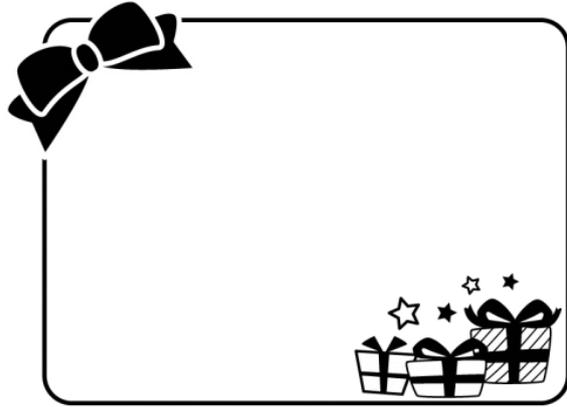
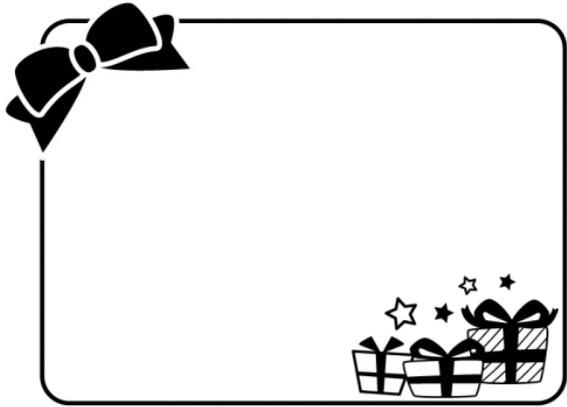
評価規準〔学級活動(2)の内容のまとまりごとの評価規準〕

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
自己の身の回りの諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の身の回りの諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよきよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲良くしてよりよい人間関係を形成しようとしている。

目指す児童の姿 友達からもらったプレゼントカードを読んで、自己肯定感を高め、これからの生活に生かそうとしている。

準備するもの プレゼントカード・振り返りシートを1人1枚

プレゼントカード



☆しあわせ たっきゅうびん☆

ここに もらった カードを はりましょう。

カードを かいたり、もらったりして おもったことを かきましょう。
